

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 0250-24-5700

年度	平成30年度		
施設名	新潟市新津鉄道資料館	所管部・課	文化スポーツ部歴史文化課
施設の設置目的	鉄道に関する資料を保存し、及び公開に関することにより、新潟市と鉄道との関わりについての市民の認識を深めるとともに、市民文化の向上に資することを目的にします。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	H30.7.10
歳入	13,144	正職員	3	修正日	
歳出	28,892	非常勤	4	評価日	

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価
			項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標				
1	市民	基準利用者数の達成	年間入館者数(単位:人)	49,616	55,927	67,620	70,000		特別展の開催や新津鉄道資料館サクスフェア2018実施するなどして昨年度以上の目標を設定した。	特別展「新潟・駅図鑑～駅と鉄道の120年～」姉妹都市愛媛県西条市との交流	
2	市民	企画展、催し物の充実	企画展、催し物実施数(単位:回)	32	42	47	50		魅力ある事業の検討・実施を図り、地元の人材、ボランティアの活用などを図ることで昨年以上の目標を設定した。	鉄道模型走行会 鉄道模型教室 鉄×フォト 鉄道七夕 鉄道書初め	
3	業務 財務	新津商店鉄道街協同組合連合会など他団体・他施設との協働	鉄道関連グッズの売上金額(単位:円)	4,015,572	4,445,754	6,003,990	6,100,000			出店者との協議・検討会開催	
4	人材	情報共有と心材育成	研修など実施数(単位:回)	4	4	4	4		勤務時間の違う各職員の情報共有とスキルアップのために実施	コンプライアンス研修 情報セキュリティ研修など	

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<p>市の直営施設としての役割の再認識と課題の検討を協議します。リニューアルオープン5年目となり、順調に入館者も増えています。今後は、姉妹館の愛媛県西条市「四国鉄道文化館」を筆頭に、その他鉄道関係施設との交流を通じて当館の周知を図り、来館者の拡大を図ります。さらに新潟・新津に息づく鉄道文化を活かし、ボランティアや地元の人材を活用し各種事業に取り組んでいきます。鉄道関係組織や新津商店街、新津観光協会等と協働で事業に取り組むことを目標として設定しています</p>	